

# 「住民合意のない区画整理」反対ニュース

羽村駅西口区画整理反対の会 2023(R5)1/14 No.279 山崎陽一555.5098・神屋敷和子

## 私たち住民は、区画整理によらない「まちづくり」を求めます

S 2022年(令和4年)12月14日(水曜日) 訂正 売

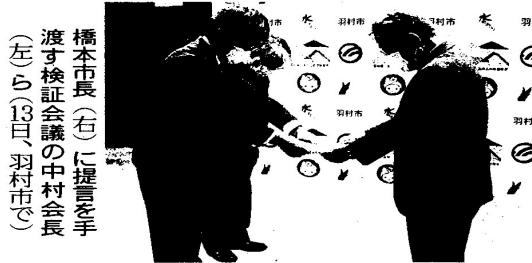
### 検証会議 証言要旨

- 現計画を踏まえつつも、整備手順の工夫
  - 移転戸数や事業費の削減
  - 区画整理以外の整備手法の検討 等
- 「住民に寄り添い事業の方向性を決めてほしい」

羽村駅区画整理

## 「駅前広場優先整備を」

### 検証会議 市に事業進め方提言



橋本市長(右)に提言を手渡す検証会議の中村会長(左)(13日、羽村市)

「羽村駅西口土地区画整理事業」に関する検証会議(会長＝中村英夫・日本大理学工学部教授)が13日、事業の進め方の提言をまとめ、橋本弘山・羽村市長に提出した。現計画を踏まえつつも、駅前広場の優先整備や、移転しない家屋を増やすことなどを検討するよう市に求める内容になっている。

市は今年6月、事業認可

から19年で進捗率24・1%(事業費ベース)にとどまりながら、今後も膨大な費用を要する同事業について、外部有識者6人からなる同会議を設置した。同会議では、現地視察を行う一方で、財政面のほか防災・安全面、公平性などの観点から、事業の経緯や進め方などを検証してきた。

提言は現計画を基にしつつ、①駅前広場や都市計画

道路などを優先するといった整備手順の工夫②不要移転棟数を増やし事業費を削減する方策③補助金など財源のさらなる獲得④区画整理以外の整備手法の部分導入――などを検討すること求めた。中村会長は提出後に取材に応じ、「市には住民の生活設計に寄り添い、今後の事業の方向性を決めてほしい」と話した。

市は、来年3月までに新たな事業の進め方を打ち出す方針で、橋本市長は「市長選の公約に掲げた『検証』の提言をいただいた。今後、提言を参考にして最適な進め方を検討していく」と述べた。

朝日

### ■移転戸数削減など提言

羽村市が進めるJR羽村駅西口の土地区画整理事業の今後について、市の検証会議(会長＝中村英夫・日大理工学部教授)は13日、現地調査を含む半年間の検証結果に基づく提言を橋本弘山市長に提出した。

総事業費436億円をかけ、駅周辺の約42軒(住民約340人)を2036年度までに整備するという現計画に対し、検証会議は、900戸以上にのぼる家屋の移転戸数を減らし、事業費を削減する方策の検討などを提言。中村会長は「事業にメリハリをつけること、また、長い期間、事業とともに過ごさなくてはならない地権者の方々の生活設計に寄り添うことも大事」などと語った。提言を受け、市は今年度中に今後の方向性を決める。橋本市長は「色々な可能性を検討いただいた中で、最適な進め方を実行していきたい」と述べた。

## —9月市議会報告—

### 山崎議員：3・4・12号線、何も決まっていないのに、移転交渉？

市長：大橋からの都道3・4・12号線東側の宅地擁壁の設計は管理者の東京都に相談をしている段階で答えることは難しい状況。

J R青梅線東部踏切との立体交差箇所の着工と完了時期は、区画整理とは別事業のため答えることは難しい。

羽村大橋拡幅の完了時期は東京都から、設計作業中で現在、搬入路の確保に向け交通や河川管理者と協議中と聞く。

3・4・12号線完了予定は、令和元年12月15日の「まちなみ第60号」で示した。羽村大橋東詰交差点(掘割部)から新奥多摩街道までは、令和2年度～6年度。新奥多摩街道からJ R青梅線東部踏切の区間は、令和2年度～11年度を目途に道路用地の確保並びに本路線の整備完了予定。

部長：「まちなみ第60号」は、第3回事業計画を示したもの。実際は現状に即し、次年度以降の事業計画や予算編成で行っていく。

### 山崎：旧青梅街道に替わるという都道7・5・1号線は、新奥多摩街道と同じ広さ。必要ない。

山崎：7・5・1号線は211m、幅は15mもあり、先の福生側は細いままだ。西口に商店がないのに、突然、商店街や交流の広場ができるというのか。

部長：計画では駅前商業地域、7・5・1号線沿線は近隣商業地域を設定している。

山崎：都市計画道路4路線に接する移転家屋はおよそ何棟か。

市長：現行の事業計画での移転棟数は、約130棟と捉えている。

山崎：区画整理は地権者から土地を取る為1000戸の取り壊しや移転をする。区画整理以外で整備すると、どのような補償がされるのか。

市長：用地買収では、道路用地費用、建物除去を含めた移転費用等が補償される。

山崎：検証会議の論点は「地域には狭い道路が多い」だった。これらの道路は法令違反か。

市長：4m未満道路が約5割を占めているが、法令に抵触しているとは捉えていない。

山崎：市内の4m未満道路は38kmある。これらの道路は、どのように拡幅するのか。

市長：区画整理以外の地区は、建築時のセットバックや宅地開発事業で、市民の協力により狭隘道路の拡幅を進める。

山崎：昭島市の中神土地区画整理事業では、住民の安全のため8m道路を鉄パイプで4mに規制し、通過車両を制限している。発想転換が必要。

### 山崎：今後の事業の方向性を聞く

山崎：50ha未満の区画整理の在り方を決めるのは自治体で良いか。

市長：50ha以下の区画整理事業の都市計画決定や変更決定の決定権者は市町村。検証会議の提言を参考に、国や東京都との協議を含め市として十分な検討を行い、

今後の事業の最適な進め方を導き出す。その決定は私が行います。

山崎：都の「地震に関する地域危険度測定調査」で、江戸川区や墨田区は危険度が4や5だが、羽村市は2以下で安全地域と市も認めている。「防災上危険だから区画整理をやる」は通じない。

市長：「災害対策事業の実施地域を選択する際に活用」のための東京都の調査で、「建物倒壊危険度」「火災危険度」「災害時活動困難度」「総合危険度」で示されている。羽村市は、全域が危険度の低い水準である。

## 山崎：権利者の意向を問うのは不可欠ではないか

山崎：危険な街であれば住民の声を聞く以前に行政としてやらなければいけない。

そうではなくて街の形を変えるということであれば、住民の声はずっと第1。

市長：今後の事業の最適な進め方を導き出していく過程において、その時期や具体的な手法等について検討する。

山崎：住民の声を聞くアンケートを取るのとは基本だ。羽村と同規模の中神駅北口区画整理事業では、権利者の7割が見直し回答。市は調査会を設置。応募した権利者14人、専門家2人の16人で構成し、見直し方針を決めた。

企画：これまで都の支援なども得ながら事業を進めてきた。今後どうするかも含め、国と都との協議は必要になると考えている。

山崎：移転の諾・否を決めるのは権利者だ。裁判の原告約100人が移転を拒否したら事業継続は不可能である。どう対応するか。

市長：協議移転が基本で原則、移転に応じるか否かの判断は、権利者それぞれの意思。万が一、移転協議が難航する際は事業の継続が困難となる。

## 門間議員：3・4・12号線の40m幅は広すぎる

門間：3・4・12号線の40mや32mの道路幅は地権者や住民が望んだものか。

市長：市が道路法や道路構造令に合致する計画とした。市民には様々な意見があると捉えている。

門間：青梅線から奥多摩街道までの500mの間に25mの産業道路よりも広い道路がドーンと通る。それによって移転を求められている方達がたくさん出ている。羽村大橋が改修されても18m、羽村街道が18mだ、3・4・12号線も18mで良かったのではないか。

地域で聞くと「40m道路を欲しいと言ったことはない」「40mいらぬ」という人たちはばかり。市民からも、「何故そんなに広いのか」との声も出ている。3・4・12号線が先行していることについては問題がある。

## 門間：羽村駅西口区画整理事業は抜本的に見直しを

門間：この事業は、最初は駅前を整備しようという小さなエリアだったが、難しくなって、2回目の変更で少し大きくなった。それも反対があって平成10年にボ

ンと大きくなった。駅前には優先して整備すべき。市には大きな責任がある。  
部長：手法の問題で、東京都の技術的な支援なども得る場合も出てくると思うが、  
駅前をどのようにしたら一刻も早く優先整備が出来るか研究し検討していく。

門間：「検証会議」から、広さ、区画整理手法、430億円の事業費、期間に疑義が  
出されていた。区画整理という手法にこだわる限り終わらない事業。  
当初79年かかると言われたものを集団移転すると言って30年に縮め、都から  
長すぎると言われて、さらに15年に縮めた。

## 櫻沢議員：市道の舗装状況もかなり劣化している

櫻沢：公共施設の一つをとっても市の財政状況によって左右され、振り分けがかなり  
難しいと思う。例えば、市道の舗装状況等がかなり悪い状況になっている。

市長：道路の舗装に関する苦情や要望は令和元年度59件、令和2年度52件、令和3  
年度53件。舗装費用は、約87億円と試算される。

部長：道路に関する苦情は年間300件程度寄せられ、緊急的な修繕は市費で対応。

## 櫻沢：財政全体を見渡し、20年先のことを考えていくと、西口 区画整理事業は難しいと言わざるを得ない。見直しが必要。

櫻沢：公共施設等の管理にかかる費用を優先的に融通せざるを得ないと考えるが、  
西口区画整理事業の費用についてはどのように捉えているか。

市長：公共施設の維持管理と西口区画整理の都市基盤整備はどちらも大切な事業。  
毎年度の予算編成の中で状況を見極め事業を進めていく。

部長：財政が厳しいことは重々承知しているので、優先整備を見極めながら行う。

## 印南議員：「西口のまちづくり」は歴史を重視して行くべき

印南：これからの「西口のまちづくり」は歴史を重視して行くべきではないか。埋蔵  
文化財が非常に出てきている。これだけ出土する街は我々の誇りと思う。

生涯学習：今後、出土が増えてくると、管理に経費がかかってくる。限られたス  
ペースなので、保管をどうしていくかということも検討していく必要がある。

## 住民集会と総会のお知らせ

2月11日(土・祝) 午後1:30～5時

場所：本町会館 1階 和室

3月までに、今後の事業のあり方が、市長から示されます。

皆の意見を持ち寄りましょう！

(コロナ感染症対応のため、マスクの着用等をお願いいたします。)

\*反対の会は、いかなる政党にも所属せず超党派で活動する住民の会です。